

## 「防災フェス in 丸亀 2023」を開催しました

～ 県民の皆様の防災意識向上を目指して ～

日本損害保険協会四国支部委員会(委員長：岡田 淳・損害保険ジャパン株式会社高松支店長)では、日本損害保険協会が掲げる第9次中期基本計画の柱の一つである「災害に強い社会の実現」の取組みとして、2月11日(土)に防災教育研究会かがわと共同主催で「防災フェス in 丸亀 2023」を開催しました。

■日 時：2023年2月11日(土) 10時00分～15時00分

■場 所：レクザムボールパーク丸亀

■主 催：防災教育研究会かがわ、一般社団法人日本損害保険協会四国支部

共 催：かがわ自主ぼう連絡協議会、丸亀市自主防災会等連絡協議会

後 援：香川県、丸亀市、丸亀市教育委員会、丸亀市社会福祉協議会

参加団体：NTT 西日本香川支店、大塚製薬株式会社、香川県広域水道企業団、香川県丸亀警察署、株式会社岡モータース、株式会社山倉建設、宝食品株式会社、日本損害保険協会四国支部・香川県損害保険代理業協会、丸亀市消防本部、丸亀市危機管理課、丸亀市自主防災会等連絡協議会

開会挨拶として松永丸亀市長から、冒頭防災教育研究会かがわ、損保協会四国支部に感謝の意があり、「県民の皆様の防災意識向上のきっかけになることを願っている」とのご挨拶がありました。

損保協会四国支部は、香川県損害保険代理業協会や損保ジャパン職員と一緒に地震保険の普及やハザードマップの理解促進を目的としたクイズ(子どもには防災意識向上を目的としたクイズ)を実施しました。クイズを実施した方から、「地震保険に家財の保険があることを知らなかった」、「地震保険は高いから加入していない」といった声や、岡山県より香川県の保険料が高額であることに驚いていた方、ハザードマップは見たことはあるけどどうして良いか分からない方がいました。そういう方々に対して、地震保険には建物と家財があること、地震保険は生活再建に必要であること、地震保険料は発生確率と連動していること、ハザードマップを確認して備えることが命を守ることに繋がることを説明しました。

その他、NTT 西日本香川支店による災害用伝言ダイヤル(171)の体験、大塚製薬による手軽で栄養バランスを考慮した食の提案、香川県広域水道企業団による6リットル水リュック体験、香川県丸亀警察署による特殊車両展示等参加団体によるブースでの催し物も多くの来場者でにぎわいました。

また、防災セッションと題して、マンション防災、自主防組織の育て方など専門家達によるディスカッションも行われました。

当日はNHK高松放送局、四国新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、中讃テレビといった多くのメディアによる取材もあり、防災記事が広く周知されたため、県民の防災意識向上の一助になったものと考えています。

当支部では、引続き行政等と連携しつつ、災害に強い社会の実現を目指して、防災意識向上に係る取組みを推進して参ります。



開会挨拶：丸亀市長



損保協会のブース



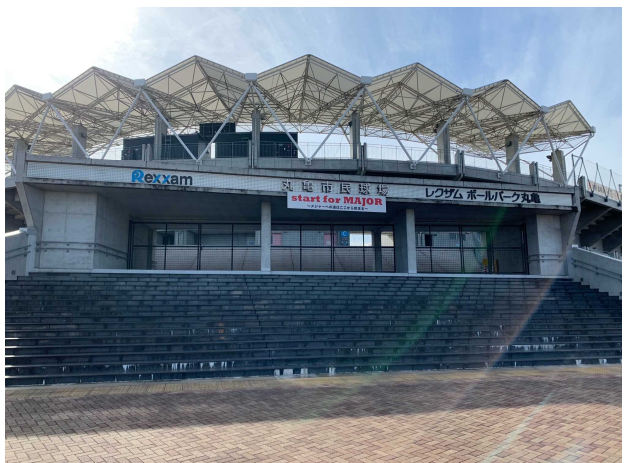
丸亀警察署による特殊車両の展示



専門家たちによる防災セッション



メディアによる取材の様子



開催会場（レクザムボールパーク丸亀）